

2019年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】・  
2020年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【8月募集】入学試験問題

講座	国際比較経済、経済理論・統計、政策科学、経営学
プログラム	東アジア中核人材育成、政策実践、地域公共政策
専門科目	経済理論・政策（マクロ経済学）

以下の問に解答しなさい。

問 開放経済の下でのマクロ経済モデル（IS-LM分析）を使って、財政・金融政策および貿易政策のマクロ経済への影響について調べることにする。財市場の均衡条件（IS式）は次のように表される。

$$Y=C(Y)+I(r)+G+X(e, Y)$$

ここで、 $Y$  は国民所得、 $C$  は消費、 $I$  は投資、 $G$  は政府支出、 $X$  は純輸出（＝輸出－輸入）、 $r$  は利子率、 $e$  は邦貨建ての為替レートを意味するものとする。貨幣市場の均衡条件（LM式）は次のように表される。

$$M=L(Y, r)$$

ここで、 $M$  は貨幣供給、 $L$  は貨幣需要を意味するものとする。資本市場は完全であると仮定し、資本移動による裁定行動の結果、自国の利子率  $r$  は世界利子率  $r^*$  に等しくなる。ここでは小国のケースを仮定し、自国の行動にかかわらず、世界利子率は常に一定であるものとする。なお、以下の各設問(1)～(4)に解答する際には、IS曲線・LM曲線を含む図を必ず描写すること。

- (1) 固定為替相場制度の下での財政支出  $G$  の増加の効果について詳細に説明しなさい。
- (2) 変動為替相場制度の下での財政支出  $G$  の増加の効果について詳細に説明しなさい。
- (3) 変動為替相場制度の下での貨幣供給  $M$  の増加の効果について詳細に説明しなさい。
- (4) いま政府が輸入抑制政策を講じ、限界輸入性向が低下したものとする。このとき、変動為替相場制度の下での輸入の減少の効果について詳細に説明しなさい。
- (5) 米中貿易戦争に代表されるように、最近、国内産業の保護の観点から、関税を引き上げるなど輸入抑制政策を採る国々も見られる。(4)での分析結果を踏まえながら、ある特定の財に対して政府が輸入を抑制した場合の、総合的な効果について論理的に説明しなさい。

以上